

News Release

JA共済連におけるESG投資の実施について ～気候変動テーマ型投資信託への投資～

JA共済連（全国共済農業協同組合連合会、代表理事理事長 柳井二三夫）は、農業を支える協同組織の一員として、農業の発展に貢献することを目的としております。現在、私たちの事業基盤となる国内農業・地域社会において、温暖化による豪雨や台風などの自然災害の増加をはじめとする、気候変動リスクが高まっており、本リスクへの対応を投資家としての側面からも自身の責任として明確に据えて、取り組んでいく必要があります。

今回、気候変動に伴う環境・社会課題への対応として、安定的な収益の確保を基本とするなかで、ESG投資の拡大に取り組む観点から、「NZAM 米株500カーボン・エフィシエントインデックス私募（為替ヘッジあり）」へ投資を行いましたので、お知らせいたします。

<本投資信託の概要>

銘柄名 NZAM 米株500カーボン・エフィシエントインデックス私募
（為替ヘッジあり）

対象指標 S&P500 Carbon Efficient Index in TTM Rates JPY Hedged

運用会社 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

投資額 100億円

本投資信託への投資により、JA共済連のESG投資を進めるとともに、企業の炭素効率性向上や情報開示に取り組むきっかけ作りにも貢献するものと考えております。

JA共済連は、今後も様々な環境・社会課題の解決に貢献する投資に取り組んでまいります。

以上

【参考】

＜本投資信託の特徴＞

本投資信託は、グループ会社である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社が運用する、S&P500 Carbon Efficient Index in TTM Rates JPY Hedged（税引後配当込、円ヘッジベース）をベンチマークとしてベンチマークに連動する投資成果を目指す私募投資信託です。

企業の炭素効率性（売上高当たり炭素排出量）と環境情報の開示状況に着目した商品であり、S&P500 に連動する商品と比較し、炭素効率性は約 25%程度の改善が期待されます。加えて、こうした投資の普及により炭素効率性・情報開示が十分でない業種・企業に対しても改善を促す、投資家によるエンゲージメントの要素を備えており、低炭素社会の実現に寄与するものです。

＜J A 共済連が今年度を実施した主なE S G投資＞

実施時期	債券名	発行体	発行額	償還期間
4月	神戸市SDGs債	神戸市	250億円	30年
6月	ニュートリション・ボンド (栄養改善支援債)	アンデス開発公社	200億円	7年
7月	ウーマンボンド (女性活躍支援債)	チリ国立銀行	100億円	10年
9月	神戸市SDGs債	神戸市	100億円	30年
10月	東京グリーンボンド	東京都	150億円	30年